



佐渡ジオパーク

■ご寄付ありがとうございました

1月12日、佐渡

市トキ環境整備基金への寄付金贈呈式が行われ、佐渡汽船運輸株式会社様より37万967円のご寄付をい



いただきました。また、平成27年から新たに開始された世界遺産推進基金への寄付金贈呈も同時に行われ、10万5573円が贈呈されました。これは、平成21年から行っている「トキ応援宅配」の売上の一部をご寄付いただく取り組みで、今回で寄付金の総額は233万4582円となりました。また、このほかに、(旧)何代農家組合様(畑野)からもご寄付をいただきました。

トキ環境整備基金へいただきましたご芳志は、トキの野生復帰や生息環境の整備に使わせていただきます。ありがとうございます。

■放鳥トキ、繁殖期へ

2月1日現在、島内に生息する野生下のトキの2歳以上のほとんどが、首回りから背中にかけて灰色に着色し始めていることが確認されています。これから徐々にペア形成に入り、営巣・産卵が始まります。トキ

が出入りしている林や巣材を運び込んでいる場所には近づかないようお願いいたします。

今年も自然界でのひな誕生に向けて、温かく見守っていきましょう。

■トキの情報をお寄せください

トキを見かけたらトキ交流会館(フリーダイヤル0120-980-551)へお気軽に情報をお寄せください。市民の皆さまからいただいた情報が重要なデータとなりますので、ご協力をお願いします。また、ケガをしているトキを見かけた場合や、巣材となる枝などを運び込んでいる様子、営巣したことなどによってお困りのことがありましたら、環境省佐渡自然保護官事務所(☎22-3372)までご連絡ください。



トキを見かけたら次の点に注意し、やさしく静かに見守りましょう。
①トキに近づかない、②車内から観察する、③大きな音や光を出さない
※特にねぐらや巣のある林には近づかないようにしましょう。(トキ観察ルールガイドから抜粋)

◆市役所農林水産課生物多様性推進室トキ政策係(トキ交流会館内)

☎24-6040

日常 + ジオパーク //

市報さど12月号から3月号に渡り、緑色凝灰岩に関する内容をお伝えしてきました。その結果、今日、女性がファンデーションを使って化粧をすることができるのは、世の中に「粘土鉱物」という鉱物が存在することが要因であることがわかりました。

粘土鉱物は、岩石中に含まれている鉱物であり、佐渡で多く見られる「緑泥石」に関しては、大昔の火山活動によってもたらされました。そして、この火山活動があったからこそ日本列島や佐渡島が形成されました。

とてつもなく長い地球の歴史は、現代の私たちの生活にとっても深く関係しています。普段何気なく見ている景色や食べ物などを、ジオパークという視点で見ると、それらひとつひとつに地球の歴史と同じくらい深い歴史があることがわかります。「普通」や「当たり前」のものに付加価値をつけることができるのが、ジオパークです。

ジオパークとは、私達の日常そのものです。その日常を当たり前ととらえるか、長い地球の歴史の中で続

いてきた場面の一部ととらえるかの違いで、普段見ている景色が違って見えてきます。

公式ロゴマーク「おいし型」

端午の節句に合わせて各地で作られる「しんこ餅」。

佐渡ジオパーク推進協議会では、昨年に引き続き、佐渡ジオパークの公式ロゴマークをかたどった型を制作しました。一部の公民館等で貸し出しています。興味・関心のある方は、ジオパーク推進室までお問い合わせください。



園児に佐渡島の成り立ちを説明するジオパーク推進室職員

◆教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室(両津支所内)

☎27-4185